

令和 5 年度 墨田区立錦糸中学校 経営報告書

令和 6 年 3 月 1 5 日

学 校 目 標	<p>人権尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の教育目標を掲げる。</p> <p>○基礎学力を身に付け、自ら考える生徒を育てる。【知】</p> <p>○情操を豊かにし、他を思いやる生徒を育てる。【徳】</p> <p>○心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒を育てる。【体】</p>
目 指 す 学 校 像	<p>「伝統ある名門校としての誇りと進取の気風に満ちた品格のある学校」</p> <p>(1) わかる喜びとできる楽しさを実感できる学校</p> <p>(2) 教師と生徒が強い信頼の絆で結ばれ、保護者に信頼される学校</p> <p>(3) 地域とともに歩み地域が誇れる学校</p>
目 指 す 子 供 像	<p>「未来への夢や希望をもち、こころざし高く歩み続ける生徒」</p> <p>(1) 基礎学力を身に付け、自ら考える生徒</p> <p>(2) 情操を豊かにし、他を思いやる生徒</p> <p>(3) 心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒</p>
目 指 す 教 師 像	<p>「明るく元気でハートがあって夢を語れる錦糸の教師」</p> <p>(1) 教科指導や直面する教育課題にも対応できる高い専門性のある教師</p> <p>(2) 錦糸中学校の教師である誇りと品格をもち、組織的に協働する教師</p> <p>(3) 教育公務員として職責を自覚し、サービスの厳正を図ることができる教師</p>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	A	タブレット端末を効果的に活用し、授業を進めることができた。少人数指導を意識しながら、わかりやすい授業を実施しようと教員は努力している。今後も実践を継続していく。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	B	定期考査や配布するプリントでは、「ユニバーサルデザインフォント」を試したり、マルチメディアデイジー教科書を採用したりすることで、学習の意欲を高めようと支援を行っている。	B	A
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	B	学校支援ネットワークの協力を得ながら、「錦中ハローワーク」、「地域が応援する入試面接練習」や Inspire High による講座等のキャリア教育を計画的に実施した。	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	A	今年度、パナソニック教育財団研究助成校に選ばれ、ICTを効果的に活用して、本校の教育課題改善に取り組む実践的な研究を応援していただいたことで、教員の授業力向上につながった。次年度、さらに充実させるためにも継続して取り組んでいく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<p>・90%以上の生徒が、iPadを効果的に活用し他授業実践を行っているといえる環境を維持するためにも、Apple Distinguished Schoolのこれからの実践に期待している。</p> <p>・特別支援が必要と思われる生徒への指導体制について、校内での共通理解をさらに深め、充実した教育をめざしてほしい。</p>		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
項目	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	A	アンケート「学校での集団生活のルールを守り、生活を送っている」の肯定的な回答は、保護者、生徒ともに85%以上と目標を達成することができた。2人担任制が浸透し、日々の生徒の状況を今まで以上に把握することができ、人間関係づくりのための心の教育・生徒指導では成果を上げていると感じる。	A	A
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	B	今年度もいろいろな場面を想定した訓練を年間計画に沿って実施してきた。新たに実施したのが、あらかじめ告知しない訓練を実施した。予想することができない時にどのように振る舞えばよいか学ばせ、行動できる生徒を育てたい。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、教員と生徒間の人間関係の良好さを保ち、教育活動を進めていってほしい。 ・ハートフルウイークは良い取り組みだと思う。生徒たちの気持ちをしっかりとくみ取ってあげてほしい。 			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	A	管理職の経営方針を全教職員が理解し、前項一丸になって取りこんでいる。今後も、全教職員で共通理解し、教育活動を行っていく。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	A	年2回のi-checkの結果や学校評価の結果をもとに専門家の指導やSC等から生徒の実態を把握し、教職員での共通理解を図っていく。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	B	アンケート「教室の環境整備に努めている」では、80%以上の肯定的な回答を得ることができた。良い環境を保っていくためにも、区教委と相談しながら、環境を整えていきたい。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	情報教育の先進的な取組は、素晴らしい。今後も、施設面の充実を図り、学校全体で活動を推進し、墨田区の学校のリーダーとして活躍してほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	A	学校だより、学年だよりをCOCOやスクリーンを活用し、教育活動の様子を定期的に伝えている。また、ホームページや生徒主体の「note」により、学校の様子を生徒目線で継続して、しっかりと伝えていく。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	B	夏のパトロール活動や青少年育成委員会主催の「輪投げ大会」等で保護者や地域との連携を深めることができた。次年度はさらに活動の機会を増やし、教育活動を進めていきたい。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	地域との交流ができるようになった今、「連携」に力を入れていってほしい。先日の「輪投げ大会」は地域の住民から大変喜ばれたので、ぜひ、継続してほしい。			

2 令和5年度学校評価のまとめ

- ICT教育の先進的な取組は、「学校の宝」となっている。Apple Distinguished School(2023-2026)に認定され、今後の活躍が楽しみである。
- 二人担任制、生徒会活動や少人数教育の活性化等、成果を、そして、Apple Distinguished Schoolの活動を通して、生徒数の増加につなげていただきたい。
- 次年度は、開校70周年である。保護者や地域との「連携」を強め、よい関係を築き、新・錦糸中学校を育ててほしい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立錦糸中学校 校長 和田 浩二

公印